

東京オペラ・プロデュースのあゆみ

東京オペラ・プロデュース(TOP)は、本邦初のプロデュース・システムによるオペラ企画、制作団体として代表を松尾洋とし、1975年に発足、同年7月の第1回公演(ビゼー作曲オペラ『ミラクル博士』、ラヴェル作曲オペラ『スペインの時』)をもって旗揚げ。2008年2月松尾洋が逝去の為、松尾史子が代表職に就任。

その主旨特徴として

| | |
|----|--------------------------------------|
| 1. | プロデュース・システムによる適材適所なスタッフ・キャスティングと人材発掘 |
| 2. | 埋もれている優れたオペラ作品の発掘、初演と定着化 |
| 3. | 伝統的オペラの現代的解釈による上演 |

の3点を掲げる

オペラ制作、上演を通して文化的創造性を探求し、将来展望を定め、更にオペラ活動を推し進めることにより、日本文化の創造、発展に貢献することを目的としている。

設立の翌年1976年より文化庁の助成を受け、79年、82年、83年、84年、87年、00年、04年には東京都の助成公演での開催、1989年から日本芸術文化振興基金の助成を得て恒常的に年2~4回の公演を続けている。

2003年より文化庁・芸術創造活動重点支援事業に組み込まれ、これまでの上演実績とその質の高さを認められる。

2004年には設立30周年を迎え、現在(2008年7月)に至るまで通算82回の定期公演を開催。

その他神戸、大阪、山口、長崎、長野、福井、栃木、富山、山梨など地方公演を開催。

台湾、香港、メキシコ、韓国、オーストラリアでの海外公演も行っている。

1995年ジロー・オペラ賞特別賞受賞。2008年第5回三菱UFJ信託音楽賞・奨励賞受賞。

本邦初演(邦人原語初演も含め)の代表的作品としては、

| 作曲者 | 日本初演 作品 | | |
|----------------|---------------------------|-------------|--------------|
| G. ロッシーニ | とてつもない誤解 | オテロ | オリー伯爵 |
| G. ドニゼッティ | 当惑した家庭教師 | ビバ!ラ・マンマ | |
| G. ヴェルディ | 王国の一日【一日だけの王様】 | | 二人のフォスカリ |
| H.A. マルシュナー | ヴァンパイア(吸血鬼) | | |
| R. ワグナー | 妖精 | 恋愛禁制(恋はご法度) | |
| R. シュトラウス | サロメ | ナクソス島のアリアドネ | 無口な女(舞台上演初演) |
| H. ベルリオーズ | ベアトリスとベネディクト | | |
| J. オッフエンバック | 天国と地獄【地獄のオルフェ】(原語歌唱による初演) | | |
| G. ビゼー | 美しいパースの娘 | | |
| A. トマ | ハムレット(原語歌唱による初演) | | |
| C. グノー | ロメオとジュリエット | | |
| G. シャルパンティエ | ルイーズ | | |
| C. ドビュッシ | ロドリグとシメーヌ | | |
| R. ヴォーン・ウィリアムズ | 恋するサー・ジョン | | |
| 青島広志 | 黄金の国 | 黒蜥蜴 | |

各公演で才能のある新人を大胆に起用、新鮮で活力に満ちた舞台創りに成功している。

1984年より次代のオペラ界を担うべき歌手を養成する機関、東京オペラ・インスティテュート(TOI)を開設、若手歌手の育成にも力を注いでいます。

TOKYO OPERA PRODUCTION